

臨床研究に関するお知らせ

東京大学医学部附属病院 血管外科では、病気で困っている患者さんの治療法を向上させるため、東京大学大学院医学系研究科とともに、下記の臨床研究を行いたいと考えています。研究を行うにあっては、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしも下記の研究内容に該当すると思われた方で、ご自身の検査データなどが用いられることにご質問などのある方やご同意を頂けない方は、下記の連絡先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「腹部大動脈瘤の破裂リスク予測における臨床研究（多施設共同研究）」

2. 研究の目的

腹部大動脈瘤（abdominal aortic aneurysm: AAA）はもっとも頻度の高い動脈瘤であり、いったん破裂すると致命的になりえるため破裂前の手術治療が望まれます。破裂リスクには瘤径、瘤の拡張速度、形状、疫学的因子（性差、家族歴など）が知られていますが、形状に関して、われわれは嚢状瘤の定義を試み、その形状に応じた壁応力を測定することで破裂しやすさをモデル上評価してきました。理論上の破裂リスクを臨床データに当てはめて、実際の破裂例を対象に検討を試みます。

3. 方法

本研究は、慶應義塾大学附属病院、湘南鎌倉総合病院、済生会横浜市東部病院、平塚市民病院を参加協力施設とし、東京大学を主任施設とする多施設共同研究です。本学および協力施設における腹部大動脈瘤患者の医用画像を個人情報匿名化した上で画像解析ソフトを用いて解析し、大動脈モデルでの理論値と比較します。特に実際の破裂部位、その時の形状との比較が中心となります。

4. 研究の対象

東京大学医学部附属病院および協力施設にて、腹部大動脈瘤と診断された患者さんの一部が対象となります。

5. 被験者の実体験

本研究は、過去に行われた画像検査、手術記録、診療録をもとに行われる後ろ向き研究であり、新たな検査や治療が本研究のために行われることはありません。

6. 研究が行われる機関または実施場所

本研究は、慶應義塾大学附属病院、湘南鎌倉総合病院、済生会横浜市東部病院、平塚市民病院を参加協力施設とし、東京大学大学院医学系研究科 血管外科にて行われます。

7. 研究における倫理的配慮について

人権への配慮（プライバシーの保護）

本研究実施に係る原資料類及び同意書を取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書、学会発表、学術論文においては、被験者を特定できる情報は含めません。もしもこのホームページで公開した本研究内容をご覧になり、研究対象となることに同意されないと連絡された方は研究対象には含めません。被験者ご本人またはご家族の中で、本件にご質問のある方、研究対象となることに同意されない方は下記にご連絡くださいますようお願いいたします。

研究対象となった方は今後もこの研究のために新たに治療や検査を受けることはなく、医療費がかかることはありません。また研究協力に対して謝礼が支払われることはありません。

8. 研究費について

本研究は科学研究費補助金にて行われます。

9. 本研究に関する連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院 血管外科

保科 克行（研究責任者）、木村 賢（担当者）

TEL : 03-5800-8653 内線 : 34703 FAX : 03-3811-6822